野老(トコロ)通信　第4号

野老（トコロ）実験クラブは、科学クラブ・彩ねっと（西部地区）です。

ホームページ：http://sainet.info/

発行：2013 年　10　月　1　日　　野老実験クラブ（2013 年度上半期）

川越「こどもの城」おもしろ科学広場

不定期　土曜日　（大体 2 カ月に一度）

14：00～15：00

第一回　**5 月 18 日（土）**

ストロンボーンを作ろう（功力）　12 名

第二回 **7 月 13 日（土）**

シャボン玉（中村）　18 名

夏休み　特別企画　夏のおもしろ科学広場

10：30～12：00　**万華鏡作り**（中村）15 名

鏡の実験も体験！

万華鏡も作ったよ！

(1~3 年ばかりでしたが頑張りました。)

8 月 8 日（木）

13：30～15：00　**マジックボックス**（中村）14 名

頑張って　作ります。

がにまた鶴をオリジナルで折る男の子がいました

セロファンで折った鶴がきれいでした。

東京理科大　みらい研（日本科学未来館）

6 月 8 日（土）9 日（日）

全体の来場者；5570 名（二日間）

ガリレオの温度計　二日で 300 名（功力、六反田、石島(8 日)、小森(9 日)、伊藤先生）

からくり屏風　　二日で 220 名　（中村、佐藤、加納（8 日））

昨年に引き続き竹村研とのコラボです。竹村研はルミノール反応とニンヒドリン反応。名探偵コナンのおかげで人気です！野老のガリレオの温度計も大人気！伊藤先生も手伝ってくださり、なんとか人数をさばけました。からくりは親御さんが喜んで持ち帰りました。来場者も多く大変でしたが活気にあふれ楽しイベントでした。準備では、PET ボトル集めが一番苦労しました。（石島さん推奨の場所で回収しました。）

市谷小　第二回サイエンスフェスタ

６月１６日（日）10：00～12：00

協力：落合さん、大森さん、チビラボの皆様（理科大サークル）

参加児童　110 名　保護者　100 名（合計　210 名）

1 年　32 名
2 年　33 名
3 年　23 名
4 年　15 名
5 年　　6 名
6 年　　1 名

スライムコーナー(加納、舘田、落合、チビラボ)

紙トンボ（小森、功力、チビラボ）

シャボン玉（中村、六反田、大森、チビラボ）

絵合わせ（神谷、高草木、チビラボ）

コマ（松山、石島、佐藤、チビラボ）

ソーラーカー（江藤）

全体　集合写真

所沢市教育センター　夏休み子供ワークショップ　親子理科教室

7 月 20 日（土）

午前の部　9：10～11：30　　午後の部　13：30～15：50

A　コース　①**エレキギターを作ろう**　　②**レインボーキャンドルのひみつ**

B　コース　①**小さな世界をのぞいてみよう**　　②**太古の世界のタイムカプセル**

各コース　24 組の親子　午前の部　24 組×２回×２コース＝96 組の親子

午後の部　24 組×２回×２コース＝96 組の親子　　合計　192 組の親子

エレキギター（功力、松山）

レインボーキャンドル（石島、高草木）

小さな世界をのぞいてみよう
（中村、江藤）

太古の昔のタイムカプセル
（佐藤、神谷、六反田）

セミの抜け殻の観察

初のダブルヘッダー　一日で 192 組の親子と体験。単純計算で 192×2（親子）＝384 名
皆さん同じ講座を 4 回繰り返す大変ハードな一日となりました。
4 回目はだいぶ慣れてきましたが　つかれてもきました。終了後の反省時、翌日の衆議院選挙準備のため部屋を退出しました。初めは、広報にで募集するも広報を見ない人が多く、結局は例年通りに学校からチラシを配布、夏休み前の配布となりタイムリーになったのか　今年は 457 名の応募（図工を含む）
今年は　約 200 組の親子が幸せな一日を体験しました。
尚　昆虫観察器は賛助会員の本郷さんに加工をお願いしました。

渋谷　こども科学センター・ハチラボ

夏休みワークショップ　初めての企画に初めての参加
ハチラボ見学を兼ねて参加しました。
学校配布の月間予定表をみて参加した親子がほとんど

7 月 23 日（火）フワフワ凧　クルクルリボンほか　　参加者 27 名+保護者

親子とも
熱心です。

8 月 18 日（日）かわいいあの子はのっぺらぼう、ダイエットカップ 35 名+保護者

ダイエットカップはサイホンの実験、のっぺらぼうは光の屈折実験をしました。

先方の希望の「ちょっとした説明」になったと思います。A4 裏表の説明もつけ、夏休みの自由研究ように親に勧めました。

所沢市生涯学習推進センター　親子 de サイエンス

7 月 28 日（日）13：30～15：30
親子 30 組
AM ラジオをつくろう（功力、石島）
親子なので作成時間が短い。
後半は電波の実験
東洋大の女子学生 3 名が
手伝ってくれました。
親子教室は、子どもだけと違い
ハードルが高いです。（授業参観）

所沢市柳瀬公民館　夏休み科学教室

8 月 9 日（金）10：00～12：00
不思議な噴水、ダイエットカップ　30 名+保護者
大実験のため小森さんにお手伝いお願いしました。大実験も噴水のチェックもベテランが必要！

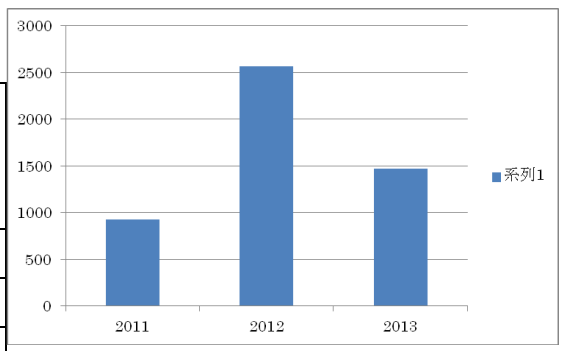
挨拶した元館長さんは、土橋さんの時も噴水をやったことがあるかたで、ペットボトルを集めるのが大変だったと話されていました。持ち込み企画で通ったそうで、こういうものが好きな土地柄かもしれません。
尚、噴水の加工は、賛助会員の本郷さんにお願いしました。

所沢市並木公民館　夏休みあそび小僧

8 月 22 日（木）　10：00～12：00　参加者 20 名+保護者
万華鏡作り（錐体鏡）　神谷、佐藤（公民館の方 2 名手伝い）
低学年　特に 1 年の参加が多く　言葉が通じない苦労を実感しました。

年度別比較

	講座回数（全体）	参加（児童・生徒）	参加（保護者）	参加（合計）
設立時　2011 年度	11	828	102	約 930
2012 年度	34	2,446	120	2,566
2013 年上半期	14	1147	322	1469



講座回数（全体）はブース形式と講座形式の両方
※参加人数を比較すると昨年のペースを上回っています。

編集後記

設立時より検討していた親睦会を初めて実施し、4 月に和光市の理研一般公開見学に行き見聞を深めました。

活動面では、2013 年上半期はとても忙しいものでした。開始早々6 月のみらい研と市谷小の準備、実施。みらい研は空前の参加者でてんやわんやでした。夏の恒例行事になっている所沢教育センターの親子理科教室は、初のダブルヘッダー！同じ講座を 4 回繰り返すハードなスケジュール！イベントの回数だけ比べれば昨年より若干多くなった程度ですが、一つ一つの中身が濃くなりました。（人数的な規模など）
この機会を楽しみながら、全員で出来る限り相談して展開やテキストなどの工夫を通して野老のレベルアップを図りたいと思います。
また、教育センターも公民館も小学校 1 年生～6 年生まで一緒に体験することが基本になっており低学年が多いパターンになっています。同じ時間に 1 年から 6 年までの難しさを実感する夏休みでもありました。
いろいろな課題が見えてきましたが一番の課題は、イベント準備で忙しく　全体で相談したり、反省会をする時間が物理的にとれなかったことです。今後、出来る限り反省会などを随時実施し、次回以降の講座に生かせるよう努力したいと思います。
活動本体は、イベントをこなすことでなく、イベント内容（テーマ、展開、テキストなどの作成）を全員で相談する中でお互いに勉強することにあると思っています。出来る限り、内容の検討や反省、勉強会の機会を設けたいと思います。

さとうやすこ